

## 情報活用術の他教科等への活用

- ・社会科の調べ学習で！
- ・担任以外の教科担当も活用！

## より質の高い発信へ

伝えたい情報をしっかり整理し、  
目的や受け手を考えて表現を工夫した発信

## 情報活用術の他教科等への活用

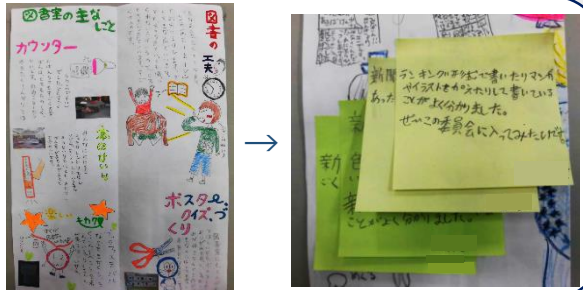
- ・職場体験のまとめ
- ・道徳の話合い
- ・社会科の授業
- ・生徒会行事の企画運営

### 小学5年国語科：伝えよう、委員会活動

#### リーフレットによる発表 ＜4年生からのフィードバック＞

- ・付せんでの感想
- ・ビデオレター 等

↓  
「何が伝わったか」分かった！  
「何が良かったか」分かった！



振り返り

振り返り

#### 委員会活動報告 リーフレット作り

**ルーブリック**（児童が自身を評価するための基準）を明確化し、比較・検討させることが重要



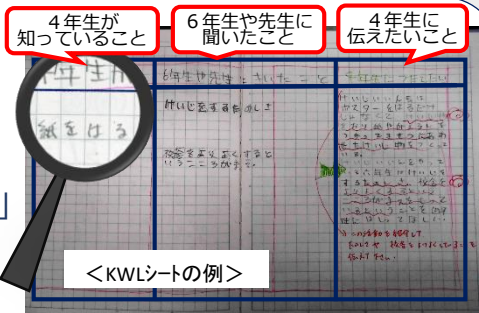
← レイアウト等、国語の学習内容を超越するルーブリックとして「つくつた」を活用  
→ 国語科の言語活動としてリーフレット作りを行い、指導事項を確実に指導

#### KWLシート(シンキングツール) → 発信内容の

明確化

#### 4年生に校外へ → 活動意欲の向上

「4年生は思ったより知らないんだな」  
「活動内容を教えたいな」  
「自分はこんな意識で活動してるよ」



＜KWLシートの例＞

3 発信 (磨き方)  
受信者からの反応を検討する

2 整理分類 (磨き方)  
思考の焦点化を図る

1 収集 (磨き方)  
目的・相手意識を明確にする

### 中学2年数学科：身近な事象の中から一次関数を見付け、分かりやすく伝えよう

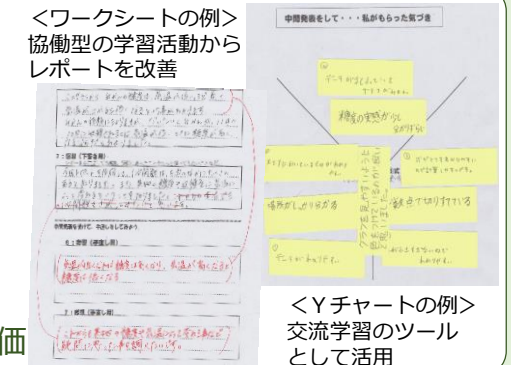
#### レポートを廊下に掲示して発表 ＜生徒同士のフィードバック＞

- ・身近な事象が数学に関わっていることへの驚き
- ・「分かりやすいレポート」の理解



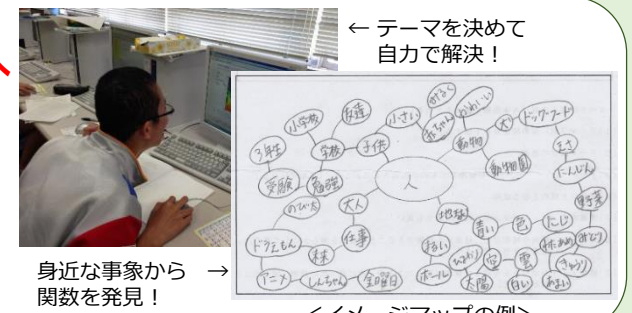
#### 日常にある一次関数レポート作り

- ・データのグラフ化→エクセルの活用
- ・レポートのひな形の提示 →理科の既習事項の活用
- ・分かりやすいレポートかを検証 →Yチャートで3観点を提示
- ・中間発表会：付せんを使った相互評価



#### データ収集→問題解決的な学習活動へ

- ・インターネットの活用
- ↑ イメージマップ(シンキングツール) → 活動意欲の向上
- ・図書資料の活用
- ・生徒の興味関心を生かす
- ・形成的な評価にも役立つ



委員会の仕事を紹介しよう！ → 4年生に発信

目的・願い → 伝える相手  
見 通 し

日常生活に一次関数があるの？ → 学年で共有

## 成果

- 【収集】目的・相手意識：活動の目的や受信者のニーズに基づいた意欲の喚起
- 【整理・分類】発信前の思考：シンキングツールや付せんによる焦点化
- 【発信】受信者からの反応：フィードバックを受ける場の設定と観点の明確化
- 情報教育の転移：他教科等に学び方を活かす姿

- 課題 ●発信手段の選択：発信手段の特性の理解と、目的に合わせた選択  
●カリキュラム：教科横断的な授業を含めた情報活用術の系統的な指導

参考 (その他の情報は、情報教育部会Webページへアクセス！)

- シンキングツール <http://tt.ict-education.org/>
- あつまと+つくつた <http://www.ina-lab.net/special/tsukutsuta/>